

<報道関係者各位>

2018年12月17日

**SDGs ゴール 2
 飢餓をゼロに**

家庭に眠る不要物品で、SDGs を達成しよう
書損じの年賀状で世界の飢餓をゼロに！
家庭に眠る未投函ハガキ、切手、商品券、CD・DVDなどが、飢餓の解決につながります


特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(理事長:関口和孝)では、日本および、バングラデシュ、西アフリカのベナン、ブルキナファソ、東アフリカのウガンダの5ヵ国で、飢餓に直面する人々の自立支援を行っています。

2016年からスタートした国際社会の共通目標、持続可能な開発目標(SDGs)のゴール2は「飢餓をゼロに」を掲げています。この達成のためには、政府、国際機関、企業、研究機関、NGO/NPOはもちろん、一般の人々一人ひとりの協力が欠かせません。

ハンガー・フリー・ワールドでは、個人が飢餓の解決のために気軽に参加できる方法として、この時期に多く出る年賀状の書損じや、未投函のハガキ、切手、商品券、未使用テレホンカード、CD・DVD、未使用プリペイドカードなどを全国から送ってもらう「書損じハガキ回収キャンペーン」を実施中です。

【実施期間】 2018年12月1日～2019年5月31日(金)
**【送付先】 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル8階
 NPO 法人ハンガー・フリー・ワールドはがき係**


西アフリカ・ベナンで栄養不良の3歳未満児を対象にした栄養改善事業を実施。1年で156名中67名が回復した

前回(2017年12月～2018年5月)のキャンペーンでは、全国から10万6198名が参加し、換金額は1億8400万円になりました。

換金された資金は、飢餓に直面する人々の自立支援のために活用


はがき1枚で、栄養バランスのよいおかゆ1食分に

海外活動国では、栄養改善や教育、保健衛生、収入創出、ジェンダー平等、環境などの分野で現地の住民の食料確保と能力強化をめざす事業を実施しています(次頁参照ください)。また、啓発活動や政策提言、青少年育成も国内外で行っています。

自宅にいながらにしてできる国際協力、どなたも気軽に参加できる社会貢献としてご紹介いただき、より大勢の方に社会貢献の機会の提供と、飢餓をなくす活動への理解促進をお願いできれば幸いです。

本件に関するお問い合わせ先 特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド

広報担当 糟谷(かすたに)知子 TEL 03-3261-4700(月～金 10:00～18:30) FAX 03-3261-4701

E-MAIL pr@hungerfree.net URL http://www.hungerfree.net/ 〒102-0072 千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル8階

ハンガー・フリー・ワールドについて

1984年アメリカに本部を持つNGOの日本支部として活動を開始。2000年に日本に本部を置く国際協力NGOとして独立し、特定非営利活動法人の認証を取得。日本、バングラデシュ、ベナン、ブルキナファソ、ウガンダで活動。「飢餓のない世界」を創るため、海外では住民主体の地域開発、国内外では、アドボカシー、啓発活動、青少年育成に取り組む。

所在地

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-13 山商ビル8階

TEL 03-3261-4700 FAX03-3261-4701

E-MAIL info@hungerfree.net

平日:10:00-21:00 土:10:00-18:00

運営

設立	1984年4月
理事長	関口和孝
事務局長	渡邊清孝
会員数	459名(2017年12月現在)
寄付者数	2039名(2017年12月現在)
正会員数	45名(2017年12月現在)
役員数	9名(理事7名／監事2名)
事務局員数	17名(専従職員14名／非専従職員3名)
財政	総支出 328,456,622円(2017年度決算)



識字率の低いベナンで、青少年と成人対象の識字教育を実施。住民たちの生活向上につながっています(ベナン)



失業率の高い若者たちの収入を増やすために、農業研修を実施。若者たちはモデル農園の運営をはじめています(ウガンダ)



最も貧しい人々にも食料が行き渡るよう、食料備蓄庫の整備を行政に求め、実現しました(ブルキナファソ)



国民に食料を保障する法律が実効性のあるものになることを求める署名を実施。12万名以上の署名を得ました(バングラデシュ)



国内では、講演やイベントなどで現地の状況を伝え、飢餓をなくすために行動するよう呼び掛けています(日本)



国際会議で提言活動を行っています。第7回アフリカ開発会議に向け、アフリカNGOネットワークとも関係を築きました(日本)